



4月6日 西古泉老人クラブ総会



4月19日 愛リバー清掃活動



4月26日 エンジョイホッケー

### 3月～8月の主な活動

3/3～	本会議	5/2	臨時会
3/17	岡田中学校卒業式	5/3	まさき港まつり
3/19	白鶴保育所卒園式	5/19	共立衛生組合臨時会
3/22	松前史談会総会	5/24	明るくい人権の町づくり大会
3/24	岡田小学校卒業式	6/6	岡田地区青少年育成会総会
3/24	土地開発公社	6/10～	本会議
4/4	岡田校区老人クラブ総会	6/16	一般質問
4/6	西古泉老人クラブ総会	6/20	まさき幼稚園落成式
4/7	白鶴保育所入園式	7/4	社会を明るくする運動
4/9	岡田小学校入学式	7/26	はんざりフェス
4/9	岡田中学校入学式	7/30,8/7	愛リバー清掃活動
4/19	愛リバー清掃活動	8/4	土地開発公社
4/23	義農祭式典	8/9	町議会議員研修会
4/26	エンジョイホッケー	8/20	戦没者追悼式
4/29	町政70周年記念式典		

## 松前町議会議員 重松 ともゆき

### 連絡先

〒791-3134 松前町西古泉140-1 ブライムJ101

電話 090-9699-1529

E-mail : shige76shige76@gmail.com

重松ともゆき

検索



重松 ともゆき  
SHIGEMATSU TOMOYUKI

# 後援会だより

VOL.5 2025年 9月号



皆さまこんにちは。

西古泉の重松ともゆきです。

この度後援会だより VOL.5 発行の運びとなりました。日ごろから議員活動にご協力いただいている皆様方にこの場を借りて感謝申し上げます。

## 6月議会において一般質問を行いました

さて、去る6月議会において、16日の一般質問で四回目の質問をしました。一つ目の質問は、町長の掲げる施策について、

- ① 圧倒的な子育て支援をするために、まず男女の出会いの場の創出が急務ではないか
- ② 町として、町独自でイベント等開催して男女の出会いにつなげていく考えはあるかどうか

を問いました。

**問①** 子育ての前の段階、出会いの場の創出は急務であり、自治体が先手を打って動かなければ今後危機的な状況を招くのではないかと考えるが、松前町としての見解は。

**答①** 子育て支援を語る上で、その前提となる「出会い」や「結婚」に目を向けることは、これからの人口政策において重要な観点であると認識している。単なるイベント開催にとどまることなく、若者が「出会いをきっかけに地域に関わり、定住や結婚、子育てへとつながっていく」ような仕組みづくりにつながるよう研究していきたい。

**問②** 町として、「まつやま圏域未来共創ビジョン」に基づき、町独自でイベント等開催して男女の出会いにつなげていく考えはあるか。

**答②** 若者の人口が多い松山市を含む複数自治体での共同開催とすることで、より高い実効性が期待できるものと認識している。「出会いから結婚、子育てへ」とつながるライフステージのサポートについて、今後も広域連携を軸としつつ、さらなる取組について研究していきたい。



令和7年6月16日 一般質問の様子

二つ目の質問は、松前町の備蓄管理及び災害要請に関する体制について

- ① 現在の松前町の備蓄品の充実度は
- ② 備蓄品の管理体制及び災害要請について

を問いました。

**問①** 避難所の備蓄品は市町村が主体と承知しているが、避難所格差が大きくなれば命を守る格差につながる。避難所運営と備蓄品はセットである。避難所格差が生まれる恐れはないか。

**答①** 備蓄品の状況と避難所運営の実態が命に直結することを、町としても強く認識している。備蓄体制の整備とともに、町民の皆さまにもできれば7日分の家庭備蓄の確保をお願いするとともに、自主防災組織などによる地域での助け合い、「共助」の重要性についても継続して呼びかけていく。

**問②** 備蓄品管理と協定を結んだ自治体や企業への要請を一貫して行える防災DXプラットフォーム「B-order」の導入予定はないか。

**答②** 国・都道府県・市区町村において備蓄品情報を共有するシステムである「物資調達・輸送調整等支援システム」を令和2年度から導入してきた。今後在庫管理等で課題が顕在化する可能性があるかと認識しており、外部システムとの連携や導入事例の検討を行っていく。

## 災害時に何をすればいいのか？

7月30日にカムチャツカ沖で大きな地震があり、日本でも津波が観測されました。あらためて「もしものとき、自分はどう動くか？」を考えることの大切さを実感しました。たとえば重信川が氾濫したら…皆さんはどう備えていますか？

家庭での準備が一番の安心につながります。例えば…

- ① 水や食料を備蓄している
- ② 家族と連絡をとる方法を決めている
- ③ 防災リュックを用意している
- ④ 停電や断水に備えている
- ⑤ 大切な貴重品を守る工夫をしている

どれに当てはまりますか？ 下のQRコードから、気軽にアンケートに教えてください！

私自身は、災害が起きたらすぐにエンゼル学園や玉生神社と連絡を取り、新しい避難先を確保します。役場や消防には「今こんな困りごとがある」と現場の声を届け、同時にFacebookやInstagramで状況を発信します。たとえば「岡田小学校はいっぱいなので、岡田中に移動してください」といった情報をいち早くお知らせし、混乱を減らしていきます。

もし西古泉公民館に災害対策本部ができれば、消防団と協力して情報を集め、皆さんに分かりやすく伝えます。そして状況が落ち着いたら、一緒にがれきの片づけや清掃を進めていきます。

皆さんの備えの工夫を、ぜひアンケートで教えてください。いただいた声を、これからの活動に生かしていきます。



協力いただいたアンケートは後日集計し、後援会だよりVOL.6でお知らせします。

◀ アンケートのQRコードはコチラ